

## 【案件概要】

# アムリア県聖ベネディクト中学校における女子寮建設計画

## 1. 計画の概要

被供与団体	聖ベネディクト中学校
供与額	86,265米ドル
署名者	ヒラリー・エラグ(校長)
計画名	アムリア県聖ベネディクト中学校における女子寮建設計画
実施地	アムリア県(ウガンダ東部)
供与内容	女子寮(714㎡:寮室5室,多目的ホール兼準備室2室,寮母部屋,生徒140人及び寮母1人収容),トイレ棟(5基),浴室棟(5室),ソーラー発電システム,家具
贈与契約署名日	2016年3月3日

アムリア県は、ウガンダ東部のテソ地域に位置しており、隣接のカラモジョン族からの襲撃などに常に悩まされ、ウガンダ人民軍(テソ地域を中心に結成された1987年から1992年にかけて活動した反政府組織)や LRA(神の抵抗軍)などのテロ行為の被害も受けてきました。同県アペドウル準郡に所在する聖ベネディクト中学校は、2008年に設立されたキリスト教系のコミュニティ学校です。中学校が設立される以前は、アムリア教区が運営する農業学校でしたが、ウガンダ人民軍により、1989年から90年にかけて全ての施設が破壊されました。現在、同校には教員16人が所属し、中学1年生から4年生までの444人(男子212人、女子232人)の生徒が通っています。同校では現在、アムリア教区が所有する築70年の教会と倉庫を女子寮として使用し、140人の女子生徒を受け入れていますが、老朽化が激しく建物の崩壊の危険性があります。本計画では、新たな女子寮、トイレ棟及び浴室棟の建設及びソーラー発電システム及び家具の整備を行うことで、女子生徒の健康的で安全な生活・学習環境を確保します。

## 2. 贈与契約署名式

2016年3月3日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とヒラリー・エラグ校長の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真